

取扱説明書

1-7652-01

超音波洗浄器濾過装置 TCRK-01

お買い上げ有り難うございます。

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠に有り難うございます。

本製品をより安全に、また、良好な状態でご使用いただくために、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

また、製品を末永くご使用いただくために、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

本品を譲渡・貸与される時には、新しい使用者が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を、製品本体と共に必ずお渡してください。

安全上のご注意

この取扱説明書では製品を安全に、正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防ぐため、安全上特に注意すべき事項についての情報を、その重要度や危険度によって下記のような警告表示で定義しますので、これらの指示に従って、安全にご使用いただくようお願い申し上げます。

各警告表示の定義

	危険	取扱いを誤ると、死亡または重症を負う可能性があります。
	警告	取扱いを誤ると、重度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
	注意	取扱いを誤ると、軽度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
	お願い	安全を確保するために注意が必要な事項。

いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

安全確保の図記

	特定しない、一般的な注意、警告、禁止事項		特定しない一般的な使用者の行為
	分解及び改造により感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止		感電の危険性の注意
	アース線の接続の指示		高温による傷害が起こる可能性がある場合の注意

<設置上の安全に関する注意>

製品の設置にあたっては、安全な使用と製品の機能を十分に発揮させるため、次の項目をよくお読みの上、適切な場所をお選びください。

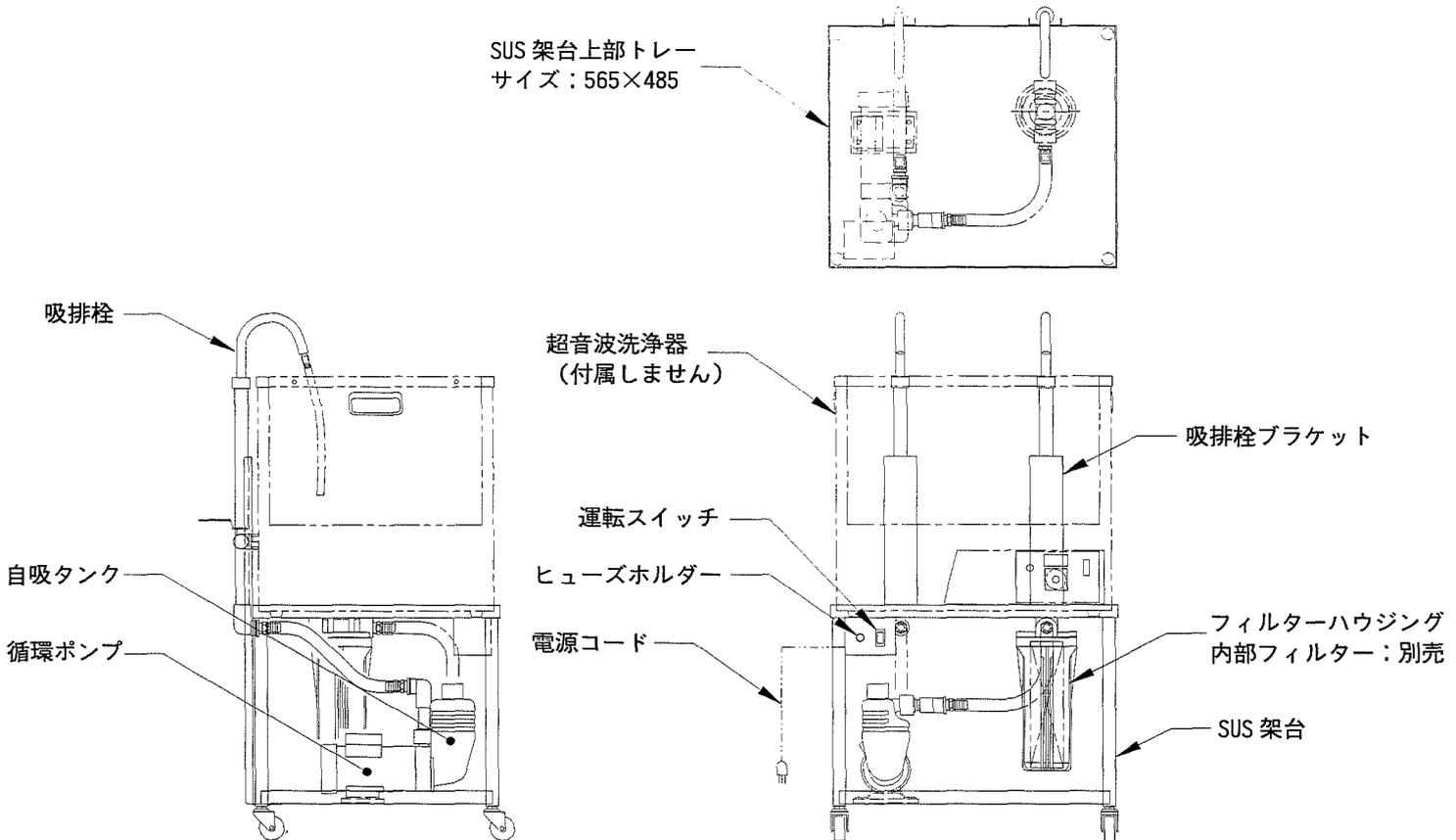
 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲温度が5～35℃以内のところ。 ・近くに引火性の固体・液体・気体のないところ。
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・水平で安定したところ。 ・ホコリ、湿気の少ないところ。 ・直射日光のあたらないところ。 ・結露しないところ。
 お願い	
	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードは、足を引っ掛けないようなところに取りまわしてください。

※この製品は、屋外で使用することはできません。

＜使用上の安全に関する注意＞

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ・作業中に異常な臭いがしたり、過熱、発煙した場合は、ただちに電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用しますと、火災、故障の恐れがあります。 ・下記に挙げる液の使用はしないでください。<u>（有機溶剤全般使用禁止）</u> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポリプロピレンを膨張させる液。 ○ ガソリン・灯油などのパラフィン系炭化水素。 ○ トリクロロエチレン、四塩化炭素などのハロゲン炭化水素。 ○ エーテルおよびエステル類。 ○ スラリー液（ポンプ軸受の磨耗を早めます。）
	<ul style="list-style-type: none"> ・改造及び分解はしないでください。改造及び分解したものを使用して事故がおきた場合、当方は一切の責任を負いかねます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・濡れた手でスイッチの操作はしないでください。感電する恐れがあります。 ・万が一、誤って液がポンプ等の電気部品を濡らした場合、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。触れると感電する恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・アースは必ず接続してください。アースを接続されないと感電事故の原因となります。
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・60℃以上になる洗浄液は使用しないでください。故障の原因となります。 ・ポンプ内部には強力なマグネットが入っておりますから、鉄やニッケルなどの金属を含む液体はご使用になれません。 ・ポンプの空運転をしないでください。ご使用前には必ず自吸タンクに洗浄液を溜めてから運転してください。洗浄液を入れなくてご使用されますと、ポンプの軸受けが焼け付いたり、磨耗を早めたりして、故障の原因になります。 ・自吸タンクに液を溜めた後、又はフィルターハウジングを開けた後は、必ずしっかりとフタを閉めてください。開けたまま運転しますと、液が漏れて、電気部品の故障の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・本製品の上に載ったり足を掛けたりしないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・運転中や運転停止直後にポンプに触らないでください。非常に熱をもっておりますから火傷をする恐れがあります。
 お願い	
	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間使用しない時は、スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。又、電源プラグを抜く時は、コードを持たずに先端のプラグを持って抜いてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ内には強力なマグネットが入っておりますから、腕時計やフロッピーなどの磁気を嫌うものは近づけないでください。

<各部の名称>



<ご使用方法>

1. <設置上の安全に関する注意>の条件を満たす所に本製品を置いてください。
2. 吸排栓は、先が 360° 回転しますから、SUS 架台と反対側に向くように回転させてください。
3. SUS 架台上部トレーに超音波洗浄器（別売）を背面側に合わせるようにして設置してください。
4. 吸排栓を超音波洗浄器のタンクに向けてください。その後付属のチューブを吸排栓の先に接続し、ご希望の長さに切断してください。（チューブの先が、必ずタンク内の洗浄液に浸かるように切断してください。）
5. 自吸タンクのカバーを開け、中に洗浄液をタンクの 3/4 以上溜まるように入れてください。自吸タンクの容量は約 0.8L です。その際、自吸タンクから液が溢れたりしないようご注意ください。又、洗浄液を入れた後は、必ずカバーをしっかりと閉めてください。
6. 用途に合わせてフィルターハウジング内にフィルター（別売）を入れてください。フィルターハウジングは、下側の容器部を回せば外れます。フィルターを入れた後は、必ずしっかりと閉めてください。
7. 超音波洗浄器のタンクに洗浄液を溜めてください。
8. 電源プラグを AC100V のコンセントに差し込んでください。
9. 運転スイッチを ON にしてください。ポンプが作動し、洗浄液が循環を開始します。

※注意事項

- 超音波洗浄器を運転する場合は、濾過装置の運転を停止してください。濾過装置を運転しますと水流が発生し、洗浄能力が低下する事があります。
- 運転中に自吸タンクのカバーを開けないでください。洗浄液が噴出します。
- フィルターの交換をする場合は、ハウジング内に洗浄液溜まりが半分以下になっていることを確認してから外してください。

<お手入れについて>

清掃は、お湯又は水を硬く絞った柔らかい布で拭いてください。
取れにくい汚れは、中性洗剤を使用し、洗剤の使用後は布で拭きとってください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ・お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 ・清掃する場合は、外装や内部に直接水をかけたりしますと漏電等の事故原因になりますので、絶対にしないでください。
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クレンザー（磨き粉）、シンナー、灯油、酸等、及びこれに類するものは、絶対に使用しないでください。

<仕様>

最外寸法 W×D×H (mm)	569×526.5×1060 (突起部含む)
床から SUS 架台上部まで	474mm
上部トレーサイズ (mm)	565×485
材 質	<ul style="list-style-type: none"> ○ SUS 架台：SUS-304 ○ 吸排栓：塩化ビニール (PVC) ○ 配管チューブ：耐薬品性軟質塩化ビニール (トアロンチューブ) ○ ポンプ (接液部)：ポリプロピレン (PP) ○ 自吸タンク：ポリプロピレン (PP) ○ フィルターハウジング：容器本体 AS 樹脂 キャップ ポリプロピレン (PP)
消費電力 (W)	60/80W (50/60Hz)
ヒューズ	ガラス管ヒューズ 5×20 2A
電源	AC100V 50/60Hz
製品質量 (kg)	16kg
適合カートリッジフィルタ	品番 1-5741-01~07

第2版 2007年1月作成



■商品についてのお問い合わせは
カスタマー相談センター

フリーダイヤル  0120-700-875
FAX 0120-700-763
e-mail q@so.as-1.co.jp

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません